

チームサクラ

鹿児島市

みらいの担い手

育成事業

現状分析

鹿児島県の若年層流出の現状

- ・ 総務省の住民基本台帳移動報告によると、鹿児島県の転出入状況は若年層を中心に**マイナス**となっている。

男性は15歳から24歳にかけて転出により減少

女性は15歳から34歳にかけて転出により減少



コンセプトは
「県外に出る学生を減らすには」

高校卒業後に**進学・就職する学生**に着目し、
何故県外に進学するのかを考えていく。

現状分析

県外を目指す理由をアンケートした結果

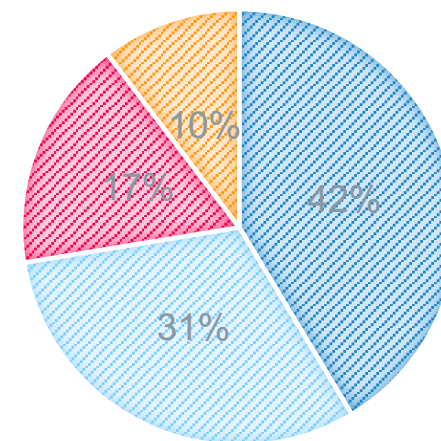
1位 一人暮らしがしたいから

2位 就活で有利なのが県外だから

3位 行きたい学部が県内になく
自分の学力にあった大学が県外だから

県外を目指す理由

■ 一人暮らし ■ 就職 ■ 学力・学部 ■ その他



学生30人にアンケート

現状分析

なぜ一人暮らしを県外でするのか

- ▷ 進学に際し県外を希望する学生の多くが、具体的なキャリアプランを考えていない。単に大学の卒業をゴールとし実家暮らしを嫌って一人暮らしを求め、県外へと進学している。
- ▷ 県内で一人暮らしをするには実家暮らしとの比較が発生する。

その結果 . . .

一人暮らしをするには県外に出るしかないと考える学生が多い。これは**進学だけには限らない**。



一人暮らしへの支援が必要

提言

一人暮らしがしやすい環境づくり

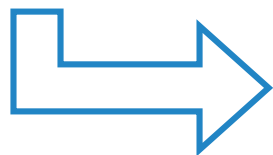
▷ **空き家**や**空き部屋**を利用した一人暮らしへの支援

鹿児島市が行っている**空き家バンク**を活用し一人暮らしの準備を容易に整えられるようにする。

提言

具体案

- ・ 鹿児島市に期待するのは**空き家バンク**と連携した一人暮らしを補助する支援体制作り。
- ・ **空き家バンク**に登録される段階で「学生応援物件」を設定する。

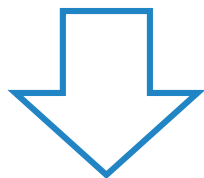


代わりに学生は市の**広報活動**に参加

提言

学生応援物件登録

- ・空き家バンクに登録する際に登録していただいた場合、家賃の半分を家の持ち主が負担することで学生が支払う賃貸料を半額以下へと抑える。

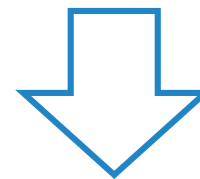


本来、家賃6万円がかかるところを3万円にする。

広報活動

- ・月に一度A3サイズの広報紙を作成する。
- ・内容は学生目線から体験した鹿児島市での暮らし。

(例) ジブリ展に行ってきたなど



就活の際のアピールにも使える。

提言

学生支援物件登録

- ・まずは利用者10人を目指して空き家バンクに登録してもらうことを目標とする。
- ・告知として進学を希望する高校生に向けて各高校へチラシを配布する。

目標

広報活動

- ・制作した広報紙は市役所や公民館、市電といった公共施設内で無料配布する。
- ・若い視点での鹿児島市を多くの世代で共有できるようにしたい。

提言

支援の最終目標

- ▷ 一人暮らし支援で目指すのは学生だけでなく、就職する若者も含む**全体への支援**である。
- ▷ 高校・大学を卒業後、県外に就職する学生に市内で安く物件を賃貸できる支援制度はアピールになる。
- ▷ 県外就職の多くは賃金によるところが多いが、県内だと安く過ごせることで市内での就職に繋げる。



市内に残る若者が増えればそれだけ市内での雇用につながるはず。

ご清聴ありがとうございました